

大手飲食チェーン店の出店戦略に関する研究

1230499 西村 知佳

指導教員 坂本 泰祥

研究背景

高知県は外食する文化があるにもかかわらず、大手飲食チェーン店であるやよい軒と松屋は出店されていない。競合他社である他企業が高知県に出店している状況と、未だ高知に出店していない出店状況の差に出店戦略の違いがあると考えた。そこで、文献調査を行ったところ具体的な飲食店を対象として出店戦略を明らかにした先行研究はない。

研究目的

そこで本研究では、具体的な飲食店であるやよい軒と松屋の出店戦略を明らかにすることを研究目的とする。

研究方法

まず文献調査を行い非公開である出店順を明らかにする。その明らかにした出店順を人口、出店型、物流、競合他社の4つの情報で多面的に分析していくことで出店戦略を明らかにしていく。またやよい軒の出店順に関してはめしや井というブランドがやよい軒の前身であり、全店やよい軒に屋号を変更した歴史があることから、めしや井を含むやよい軒の出店順を研究対象とする。

調査結果

紙面の都合上出店順は上位10県のみを記載し県名のみ記す。

松屋の2番目から12番目の出店順が不明のため人口の多い順で推測した出店順になっている。

- ・やよい軒 1 福岡 2 熊本 3 東京 4 長崎 5 神奈川 6 埼玉 7 大阪 8 鹿児島 9 千葉 10 兵庫
- ・松屋 1 東京 2 神奈川 3 大阪 4 愛知 5 埼玉 6 千葉 7 兵庫 8 福岡 9 静岡 10 京都

考察・結論

両企業とも県別の人口だけでは出店戦略が解明できない。そこで地方別に見たところ、基本的には人口の多い地方が優先される。しかし人口規模が小さくなると競合他社という視点が追加され、そこからさらに人口規模が小さくなると物流という視点が追加される。このようにターゲット地方が決まれば、やよい軒はその地方の中の都道府県を、基本的には人口順で出店する。人口規模が小さくなった際には、10万人を切る都道府県や、物流距離が遠く人口の多い都道府県との人口の差が10万人以内の都道府県は物流が優先される。松屋は人口の多い順に地方を選定している。そして都道府県の出店順は基本的に人口の多い順に出店し、人口が19万人を切ると物流を優先する。

以上の研究を通して、本研究の成果として次のことが言える。

上述したように、先行研究では具体的な飲食店の出店戦略を明らかにしたものはない。本研究ではやよい軒と松屋という具体的な飲食店の出店戦略を初めて明らかにした。

一方今後の課題として、

時間の都合上松屋の出店順には推測も含まれるため、より精緻に出店順を明らかにすべきである。